

人々のおもいが集う吉野公民館

吉野公民館だより



(R7年3月号)

発行：鹿児島市吉野公民館
所在地：鹿児島市吉野四丁目4番3号
電話：244-2566 FAX：244-2567
公民館だよりアクセス用「二次元コード」⇒



『この一年の変化で感じたこと』

主査 岩戸郁一

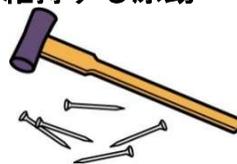
つい先日、公民館へ異動したと思っていたら、気が付けばあっという間に一年が過ぎようとしています。

吉野公民館に来て以来何ができたか振り返ってみると、これと言って成果を出せたような気もせず、何かできないか試行錯誤するものの爪痕すら残せていません。強いて挙げれば、この一年で身についたのは、付け焼刃程度の修繕のまねごとのようなものでしょうか。ただこの修繕に対するやる気が、私のモチベーションを維持する原動力になっているような気がします。

もともとそんなに手先が器用でも何か特技があるわけでもなく、「もったいない」という気持ちから、修繕すれば何とかかなりそうなものには、ダメもとでチャレンジするようになりました。いつも何かにかこつけてはすぐに諦めていた自分が、身を置いた環境次第でこんなに変われるとは思ってもみませんでした。少しずつでも変わることで、昨日よりも少し幸せに近づいたような気持ちになったり、この公民館を利用される方々との日々のふれあいで変化したりしているのだらうと思います。

ところで公民館の役割の一つである公民館講座は、自分の可能性を試してみるきっかけのような場所だと思います。ここから自分の可能性が膨らみ進んでいければ、もっと豊かな未来にたどり着けそうな気がします。

自分を極めたい方や可能性を膨らませたい方で、公民館講座にまだ出会っていない方は、ぜひ一度試してみてくださいはいかがでしょうか。



【吉野公民館運営審議会】

2月6日（木）には、本年度2回目の運営審議会を開催しました。今回は委嘱している委員5名にお集まりいただき、本年度事業や館利用状況等の実績をもとに御意見をいただきました。より良い吉野公民館を目指し、情報発信の在り方など委員の皆様方の貴重な御意見を来年度の事業計画・実施等に反映してまいります。



【吉野地域コミュニティ協議会社会教育連絡会】

2月12日（水）には、本年度2回目の社会教育連絡会を開催しました。吉野地域4小学校区の協議会長や事務局長、管内小・中学校長にお集まりいただき、本年度の反省や来年度の方向性、また各校区で課題となっていることの改善方法についても意見交換を行いました。これらは更により良い校区づくりにつながっていくことでしょう。



予告！令和7年度公民館前期・通年講座の募集が始まります

★ 募集期間……4月1日（火）から4月20日（日）※消印有効

★ 申込方法

- (1) 公民館窓口で、講座申込書に記入し、自分宛の郵便はがきとともに提出する。
- (2) 往復はがきに必要事項を記入し、投函する。（1講座につき1人1枚の申込み）
- (3) 市生涯学習講座申込システムに登録し、ネット上で申し込む。（4/1運用開始）

※ 市HP＞文化・スポーツ＞生涯学習＞講座申込システム内にあるURLから登録ページに進み、手続き・登録後、講座申込をしてください。

【4月の主な行事予定】

1日（火）前期公民館講座受付開始（～20日）

7日（月）自主学習グループ連絡会役員会（14:00～15:30）

8日（火）健康づくり学習室利用講習会（14:00～15:30）

10日（木）自主学習グループ連絡会総会（14:00～15:30）

自主学習グループ連絡会文化部会・体育部会（総会終了後）

19日（土）おはなしのじかん（14:00～14:30）

23日（水）自主学習グループ連絡会安全講習会（9:30～11:00）

26日（土）健康づくり学習室利用講習会（10:00～11:30）

市民の時間……5日（土）、6日（日）、7日（月）、12日（土）、13日（日）、14日（月）、

19日（土）、20日（日）、21日（月）、26日（土）、27日（日）、28日（月）

親子無料開放…20日（日）…13:00～17:30

※ 市民の時間や親子無料開放は、今後予約が入ると中止になります。



図書室より



卒業生に読んでほしい本

『きみの行く道』

ドクター・スース/作・絵（河出書房新社）

『ひろいせかいはきみのもの』

オリヴィア・ホープ/文（化学同人）

『あなたがおとなになったとき』

湯本香樹実/文（講談社）

『たくさんのドア』

アリスン・マギー/作（主婦の友社）

『ありがとう』

谷川俊太郎/詩（講談社）

3月3日は“桃の節句、“上巳の節句、ともいい、女の子の幸せを願うひな祭りです。今のようにひな人形を飾るようになったのは明治時代以降といわれています。ひしもちの色の意味や、なぜはまぐりを食べるのかなど、図書館で調べてみてはいかがでしょうか。

参考：『つくろう！食べよう！行事食』

